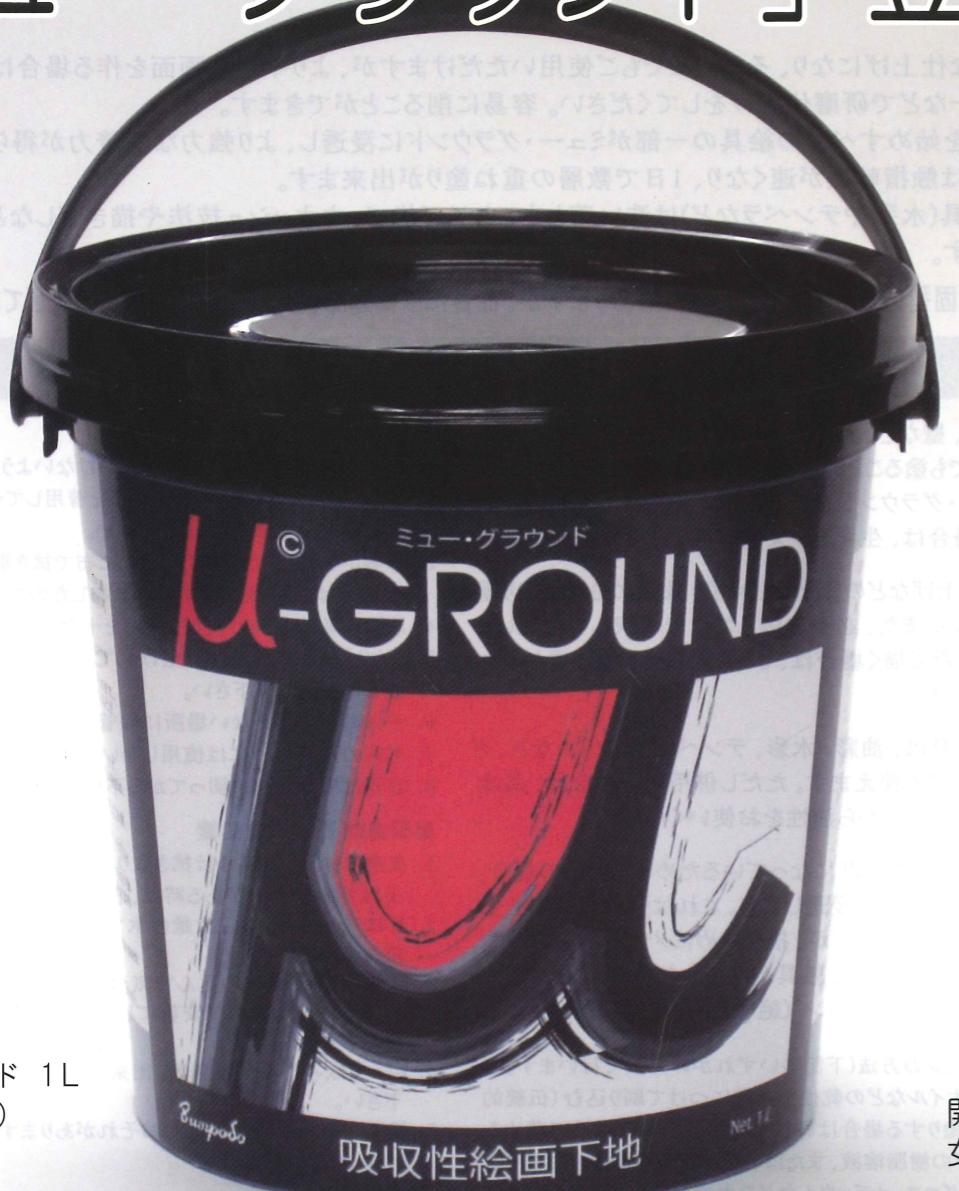


ミュー・グラウンド
μ-GROUND
吸收性絵画下地

新しい技法の可能性 「ミュー・グラウンド」登場！



ミュー・グラウンド 1L
¥3,045 (税込価格)
¥2,900 (本体価格)

開発・監修
女子美術大学

- 板、布、紙、壁など、吸水性のあるものであれば、どのようなものにでも塗ることができます。すべての絵具の一部がミュー・グラウンドに浸透し、より強力な固着力が得られます。
- テンペラや油絵具はもちろん、水彩、アクリル絵具などでも描け、古典技法のみならず、いろいろな描画材料の併用（混合技法）も可能です。
- 色：ナチュラルホワイト

株式会社 文房堂



μ-GROUND ミュー・グラウンドは吸水性のある下地塗料です。古典絵画における白亜地や石膏地の優秀さを引き継ぎながら、手軽に扱えるものとして開発されました。これを塗布した画面にはテンペラや油絵具はもちろん、水彩、アクリル絵具など、どんな絵具でも描けます。古典技法のみならず、いろいろな描画材料の併用など、新しい表現の可能性が広がります。また、ホビー やクラフトでの下地材としても、最適のものとしてお使いいただけます。

《特徴》

- 滑らかな仕上げになり、そのままでもご使用いただけますが、より平坦な画面を作る場合は、サンドペーパーなどで研磨仕上げをしてください。容易に削ることができます。
- 油絵具を始めすべての絵具の一部がミュー・グラウンドに浸透し、より強力な固着力が得られます。
- 油絵具は触指乾燥が速くなり、1日で数層の重ね塗りが出来ます。
- 水性絵具（水彩やテンペラなど）は洗い落とすことが可能で、ウォッシュ技法や描き直しなどが容易に出来ます。
- 水溶液と固型分が分離している場合がありますが、品質には問題ありませんので、よくかき混ぜてお使い下さい。

μ-GROUND 使用法

■板、布、紙、壁など、吸水性のあるものであれば、どのようなものにでも塗ることができます。前膠やドウサを施さず、直接ミュー・グラウンドを塗ってください。（キャンバスを利用する場合は、生キャン又は裏面をお使いください。）

■一度に盛り上げなどの厚塗りをせず、数回に分けて塗り重ねてください。また、必要に応じて水で希釈してお使いください。（油彩で描く場合は、3～4層以上の塗り重ねをお勧めします。）

■使用する絵具は、油彩、水彩、テンペラ、アクリルなど、どのようなものでも使えます。ただし併用する場合は、基本的に水性の上から油性をお使いください。

■吸水性を重視した設計になっているため、油絵具の場合、油分の一部が下地に浸透します。これは強い固着力を生み出すための処置ですが、描き始めにメディウムを加えない描き方をする場合は、絵具がぱさつくことがあります。その場合はアイソレーション^{*}（絶縁層）を施してください。

※アイソレーションの方法（下記のいずれかの方法で行います。）

1. リンシード・オイルなどの乾性油を掌につけて刷り込む（伝統的手法）。刷毛塗りする場合は乾性油を等量の揮発性油で薄める。
2. ダンマルなどの樹脂溶液、または乾性油との混合液を塗布する。
3. アクリリック・グロス・メディウムなどを水で希釈して塗布する。
(注) 油彩でのインプリマトゥーラ技法（有色下地）の場合は、油樹脂を含むメディウムを加えて塗ってください。着色と同時にアイソレーションの役割を担います。

■取扱い及び保管上の注意

1. 取扱い中は出来るだけ皮膚につけないようにし、必要に応じて保護手袋、保護マスク、前掛等を着用してください。
2. 取扱い中は換気をよくして下さい。
3. 容器からこぼれた場合は、すぐに布で拭き取ってください。大量の場合は、砂、おがくず等を散布したち処理して下さい。
4. 取扱い後は手洗い及びうがいを十分に行って下さい。
5. よくフタをし、直射日光をさけ40℃以下0℃以上の一定の場所を定めて保管して下さい。
6. 子供の手の届かない場所に保管して下さい。
7. 本来の用途以外には使用しないで下さい。
8. 容器は中身を使い切ってから不燃物として処理して下さい。

■緊急時及び応急処置

1. 皮膚に付着した場合は拭き取り石けん水でよく洗い落とし、痛み又は外観に変化がある時は、医師の診療を受けて下さい。
2. 目に入った場合は、大量の水で洗い、できるだけ早く医師の診療を受けて下さい。
3. 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合は速やかに空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診療を受けて下さい。
4. 誤って飲み込んだ場合は、出来るだけ早く医師の診療を受けて下さい。
5. 授乳中の子に害を及ぼすことがあります。



《主成分》

展色材：アクリル樹脂エマルジョン
体质顔料：炭酸カルシウム、タルク他
白色顔料：二酸化チタン
助剤：分散剤、消泡剤、防腐剤他

文房堂

株式会社文房堂 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-21-1 TEL.03-3291-3441(代)
開発・監修：女子美術大学